

# 第 97 回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会

## 新型コロナウイルス感染症 感染防止対策等の諸連絡 [出場チーム向け]

第 97 回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会へ出場するにあたり、来場するすべての人は、次の各項に記載の内容を必ずご確認の上、内容を理解し、来場してください。

なお、出場チームの皆様については、エントリー時に各大学 1 枚、本諸連絡に対する同意書をご提出いただきます。同意書が提出されない場合には本大会への出場は認めません。

※赤字は改訂版で追加・修正した部分となります。

### 10 月 2 日の改訂内容

#### ○「①主催者が定める事項への同意」の項について

9 月 30 日に日本陸上競技連盟策定の「ロードレース再開についてのガイダンス」が改訂された内容を受け改訂しました。

#### ○「③競技会開催および来場に際しての各種連絡事項」の項について

体調確認と競技に関する受付を明確化するために改訂しました。

### ① 主催者が定める事項への同意

#### (ア) 個人情報の取得について

- 1) 競技運営目的以外に感染症予防対策目的に、来場するすべての人の各種情報(氏名、連絡先、年齢、健康状態等)の個人情報を、別途定める「体調管理チェックシート」により取得します(大会当日に回収し、主催者事務局で 2 か月間保管します)。なお、同チェックシートは大会前(2 週間前から大会当日)と大会後(大会翌日から 2 週間)の 2 種類あり、大会後の同チェックシートについては、記入後は各大学で保管とします。ただし、大会当日の来場者に新型コロナウイルス感染症をはじめ、体調不良等が生じた場合には、主催者がチェックシートの提出を求めることがあります。
- 2) 万一、感染者が発生した場合、主催者は保健所・医療機関などの第三者へ対し、情報提供することがあります(主催者として個人名や所属名等の公表は行いません)。

#### (イ) 新型コロナウイルス感染症 感染予防策について

- 1) 主催者からの健康状態の確認に応じてください。健康状態の把握対象期間は、大会日の前後 2 週間です。なお、健康状態の確認は前項(ア)-1)に記載の通り「体調管理チェックシート」により行うこととしますので、大会前(2 週間前から大会当日)と大会後(大会翌日から 2 週間後)の同チェックシートを必ず記入してください(大会前のみ当日に提出し、大会後は各大学で保管してください)。もしも上記対象期間外で体調に異変が生じた場合には、大学の方針に従ってください。

2) 競技会3週間前(9/26)以降に「感染者」、「濃厚接触者」、「感染疑い者」となった場合には、主催者として次の通り対応することとします。

1. 感染者 [3週間前(9/26)以降]

部員(選手、主務等)および監督、コーチ等が、PCR検査/抗原検査において「陽性」反応があった場合、いかなる場合でも、**当該者の出場および会場への立ち入り**を認めません。

2. 濃厚接触者 [開催3週間前(9/26)～2週間前前日(10/2)]

部員(選手、主務等)および監督、コーチ等が、保健所から濃厚接触者と認められた場合、14日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない場合には**当該者の出場および会場への立ち入り**を認めます(この間、当該者は保健所の指示に従ってください。また部員(選手、主務等)および監督、コーチ等への接触を禁止して、健康観察を行うことが望ましいことを理解してください)。

3. 濃厚接触者 [2週間前(10/3)以降]

部員(選手、主務等)および監督、コーチ等が、保健所から濃厚接触者と認められ、大会前日までに健康観察期間が終了しない場合、いかなる場合でも、**当該者の出場および会場への立ち入り**を認めません(この間、当該者は保健所の指示に従ってください。また部員(選手、主務等)および監督、コーチ等への接触を禁止して、健康観察を行うことが望ましいことを理解してください)。

4. 感染疑い者 [3週間前(9/26)以降]

部員(選手、主務等)および監督、コーチ等が、感染疑い症状(発熱、咳、咽頭痛、息切れ、全身倦怠感、下痢、味覚障害等)が発症した場合には、インフルエンザ等の新型コロナウイルス感染症以外の感染症リスクも考慮し、原則として**当該者の出場および会場への立ち入り**を認めません。

ただし、次の2つの要件を両方満たしている場合には、**当該者の出場および会場への立ち入り**を認めることとします。

\* 感染疑い症状の発症後から少なくとも8日以上が経過している(発症日を0日として8日間とします)。

\* 薬剤を服用していない状態で解熱後および症状(※)消失後、少なくとも3日以上経過している(解熱日・症状消失日を0日として3日間とします)。

(※発熱、咳、咽頭痛、息切れ、全身倦怠感、下痢、味覚症状等)

- 3) 大会当日に発熱等感冒症状（※）を有する（感染疑い）場合は、個人として出場を認めません。なお、これにより出場者が10名未満となる場合には、チームとしての出場を認めません。

主催者が必要と認める場所において、サーモグラフィーあるいは非接触型体温計、接触型体温計などによる検温を実施します。

（※発熱、咳、咽頭痛、息切れ、全身倦怠感、下痢、味覚症状 等）

- 4) 主催者が定める感染症対策に関する協力要請を行った場合、これに応じてください。特に、来場するすべての人に対してマスク着用を義務化し、必要に応じて手袋やフェイスシールド等の着用を促すこととします。また、着用したマスク等は競技会場で捨てず、自身で所持し、自宅で廃棄してください。

## ② 各場面における感染症予防策の徹底

### (ア) 事前

- 1) 主催者が認めるすべての来場者に対して、「新型コロナウイルス接触確認アプリ（略称：COCOA）」の導入（インストール）を推奨します。導入した場合には、常時スマートフォンを所持してください（競技中の選手は除きます）。
- 2) 来場するすべての人には、主催者が指定する様式にて、競技会開催2週間前から当日までの健康状況のチェックを求めます（様式とは前記の「体調管理チェックシート」を指します）。
- 3) 前項①-(ア)に記載の通り、個人情報の取得に関して同意していただきます。また、年齢が65歳以上の方、基礎疾患を有する方が来場される場合、新型コロナウイルスに感染した場合の重症化するリスクが高い旨を認識していることに同意の上で来場してください。  
なお、これらの同意は主催者が指定する様式にて得ることとします（様式とは前記の「体調管理チェックシート」を指します）。

### (イ) 当日（入場時）

- 1) 競技者/チーム関係者は、各大学手配の大型バスでの来場を推奨し、一団で入場することとしますので、現地での指示に従ってください。  
なお、入場に際して主催者が発行する「入場許可証」を会場入口で掲示してください。
- 2) 競技会場においてサーモグラフィーや非接触型体温計、接触型体温計にて検温を実施します。入場の際に、37°Cを超える場合には、改めて接触型体温計（脇下）で再測定し、37°C未満の場合は入場を許可します。再測定でも37°Cを超える場合、再度15分後に接触型体温計（脇下）で測定し、それでも37°Cを超える場合には、チームとしての出場を取り消す場合がありますので、主催者の指示に従ってください。
- 3) 来場するすべての人は、常時マスクを着用してください（出場選手は、競技中（レース、ウォーミングアップ）においては、その限りではありません）。  
なお、マスクは自身で準備することを前提とし、着用したマスクは競技会場で捨てず、自身で所持し、自宅で廃棄してください。

### (ウ) 競技会場内

- 1) 手指用アルコール消毒液を各所に設置し、手指消毒を行っていただきます。
- 2) 競技会場内にはごみ箱を設置しない為、各自が自己責任で処理（原則は持ち帰り）してください。特に飲料や鼻水、唾液等が付着したごみは確実に持ち帰るように徹底してください。
- 3) 常時、身体的距離（概ね2m以上）を確保することを意識してください。

### (エ) トイレ

- 1) 競技会場内の常設トイレは利用不可とし、主催者で仮設トイレを設けます。  
なお、競技者/チーム関係者とその他関係者とで利用可能なトイレを分けて運用します。
- 2) 手洗い場に主催者側でポンプ型ハンドソープを準備しますのでトイレ利用後に必ず使用してください（手洗い方法のサインを掲出します）。

### (オ) 競技会終了後

- 1) 来場するすべての人には、主催者が指定する様式にて、競技会終了2週間後(10/31)までの健康状況のチェックを求めます。出場チームにおいては、責任者（監督）が内容を確認した後に、各大学で保管してください。
- 2) 競技会終了後、発熱あるいは感冒症状（※）が出現した際は、必ず居住地自治体の保健所または帰国者・接触者相談センターに連絡をとり、その後の指示を仰いでください。なお、これらの経過については必ず都度主催者に報告していただくようにしてください。  
（※発熱、咳、咽頭痛、息切れ、全身倦怠感、下痢、味覚障害 等）

### (カ) 日常生活

- 1) 日々の生活においては日本陸上競技連盟が策定した「日常活動について」を参考にしてください、特に次の点に留意してください。
  1. 食事における留意事項
    - ・ 寮生活等で選手同士と一緒に食事をする場合、隣り合う席（選手）との距離を可能な限り2m、最低でも1mを確保し、向かい合わせの配席はしないでください（寮生活ではない場合でも食事の際は隣り合う席との距離を意識してください）。
    - ・ 寮の食堂等で、まとまって食事をする場合には、十分な広さの部屋を確保してください。広さが不十分と判断する場合には、グループ分けをする等、密にならない環境を作り出すよう努めてください（食事中、入替え時の換気は常に意識してください）。
    - ・ 食事の際には、ピュッフェ形式ではなく、一人ずつ取り分けた状態で用意してください。
    - ・ 食事中の会話は避け、会話をする際はマスクを着用するよう留意してください。

2. ミーティングを行う際の留意事項
  - ・ 対面のミーティングを実施する場合、必ずマスクを着用し、屋内の場合には部屋の換気に留意してください。
  - ・ ミーティングに出席するすべての人は、隣り合う人との距離を可能な限り2m、最低でも1mを確保してください。
3. 学校関係者やOB等による壮行会、食事会は控えてください。
4. 競技会開催日（10/17）の2週間前（10/3）からは特に、3密を避ける行動を心掛けてください（以下に例を記載します）。
  - ・ 寮生活を除く、飲食店等での大人数の食事
  - ・ 接待を伴う飲食の場
  - ・ カラオケ（大声を出す環境）
  - ・ 飲食店等でのアルバイト活動

#### （キ）宿泊

- 1) 出場選手あるいはチーム関係者が、ホテル等の宿泊施設に前泊または後泊する場合、その所在と連絡先を主催者へ報告してください。また、次の点について留意して、チームとして対応してください。
  1. 宿泊施設に泊まる場合、一人部屋を推奨します。2名以上が同室に宿泊する場合は極力マスクを着用するように努めてください。
  2. 宿泊施設で食事をする場合、チーム専用として使用可能か検討してください。
  3. 宿泊する部屋の消毒、換気を行ってもらうよう事前に宿泊施設へ依頼してください。
  4. 従業員との接触を減らすためチームの不在時に清掃する、または、清掃しないことを検討してください（宿泊施設への依頼）。
  5. 宿泊施設内の各所に手指消毒用のアルコール消毒液を設置してください（もしくは自身で所持してください）。
  6. 室内でもこまめに手洗いを行い、宿泊する部屋以外では、マスクを着用してください。
  7. 宿泊する部屋の換気を常時意識してください（窓が開閉式でない場合、空調で対応してください）。
  8. エレベーターのスイッチや階段の手すり等に素手で触れないようにしてください（触れた場合、手指の消毒を行ってください）。
  9. 宿泊施設内にサウナやフィットネスルーム、バー等がある場合には、それらの施設を使用しないでください。
  10. 宿泊施設でトレーナーによるマッサージ等を行う場合、トレーナーはマスクの着用、手指消毒等の予防対策をとった上で実施してください。

## (ク)移動

- 1) 移動の際には、チーム全体（来場するチーム関係者全員）が一団となり、各大学手配のバスにて移動することを推奨します（可能な限り公共交通機関を利用しないでください）。各大学手配のバスで来場する場合には、バスに乗車したまま陸上自衛隊立川駐屯地内へ入場していただき、現場のスタッフの指示に従ってください（駐車場所は主催者で用意します）。競技終了後は入場と同様に一団となりバスで退場していただきます。また、バス利用の際には次の点について留意して、チームで対応してください。
  1. 事前に車内の消毒を行ってください。
  2. 運転手の体調管理を徹底するように依頼し、且つ、マスクや手袋の着用についても依頼してください。
  3. バス内は密を避けるように意識してください（定員の50%になるよう乗車人数を減らす、着席する席の間隔を空ける等、工夫してください）。
  4. バス内では、乗車するすべての人に対してマスクを着用することを徹底してください。
  5. 1時間につき3回程度の換気を推奨します（窓を開けて換気してください）。
  6. 長時間移動の場合は、密を避ける為に複数台のバスに分けて移動することも検討してください（競技会場内への入場は1台に限ります）。また、サービスエリア等での休憩時もマスクを着用してください。

## ③ 競技会開催および来場に際しての各種連絡事項

- (ア) 来場を認める人数は、選手や監督、コーチ、主務、給水員を含めて20名までとします。来場者は主催者が別途定める様式に全員分記入し、主催者へ提出し承認を得てください。
- (イ) 会場到着後、検温した後に監督と主務は大学受付テントへ移動していただきますので、検温は監督と主務を優先してください。同受付で全員分の体調管理チェックシートを提出してください。なお、この時に監督不在の場合には、チームとしての出場を認めません。
- また、最終連絡事項については説明の場を設けることはせず、必要事項を紙にまとめて主催者より配付する為、必ず確認し、選手はじめ大学内で共有してください。
- (ウ) 出場校受付を大学受付テントにおいて、7:30～8:00の間に行います。新型コロナウイルス感染症対策として密集を避けるため、主催者が呼び出しを行うので、呼ばれた出場校は、署名捺印済みの補欠者提出用紙4部（原本+コピー3部）を提出し、出場する10～12名を申告してください。なお、欠場者がいない場合でも同様に、補欠者提出用紙を提出し、その旨を申告する必要があります。補欠者提出用紙と引き換えに、欠場者割り当て分を除いたナンバーカードと飲料（水1箱）を配付します。

- (エ) 大学待機場所を主催者側で設置しますので、必ず利用してください。使用できるスペースは事前に主催者で区画します(約 12m×約 9mを想定)。また、区画内においても常時、身体的距離(概ね 2m 以上)を確保するよう心掛けてください(隣接する大学とは 3m 程度離します)。なお、大学待機場所を設ける場所は芝生の上の為、雨天時にはぬかるみが生じる可能性がありますので、雨天時の対応は各大学において実施してください。
- (オ) 最終招集は、主催者にてトラメガを用いて、ナンバーカード順に呼び出しを行いますので、呼び出された大学から順次移動してください。移動の際には、上着等は着用せずに、そのままスタートができる準備をした上で対応してください。なお、最終招集所では選手の待機位置を示すマーキングを行うので、それに従ってください。
- (カ) ウォーミングアップは、7 時 30 分~8 時 50 分までの間、主催者が指定するウォーミングアップエリアにて行ってください。同じ大学でまとまって行う場合でも、選手同士の距離を十分に確保し実施してください。
- (キ) スタート地点には、選手一人ひとりのスタート位置を主催者側でマーキングしますので、それに準じて並んでください。
- (ク) 競技会場内においては、いかなる場合でも唾や痰を吐くことを禁止します(給水時に飲料を口に含んで吐き出すことも同様に禁止です)。給水時はペットボトルのまま(蓋は開封していない状態)で受取り、主催者が予め設定する破棄エリアに投げ捨ててください。なお、破棄エリアに投げ捨てる際には、蓋を閉めた状態で投げ捨てるよう努めてください。
- (ケ) 給水については、次の運用で行うこととします。
- 1) 大学毎のテーブルを設けることとし、対応するスタッフは各大学から 3 名以内の人員で対応することとします。
  - 2) 対応スタッフは、主催者指定のビブスを着用し、識別を図ります(ビブスは主催者にて準備します)。
  - 3) 給水用の飲料は主催者側で準備することとし、ペットボトルのまま(蓋を開封しない)テーブルに置くこととします(スポンジは使用しません)。
  - 4) 給水後の飲料は、破棄エリアに選手が投げ捨てる為、他の出場チームの対応スタッフと協業し、回収していただきます。なお、回収の際は主催者で用意するトングを使用してください。

5) 各大学の識別を図る目的に大学名入りの幟を掲出していただきますので、必ず土台も含めて持参してください。なお、土台がない場合には給水の対応スタッフの中から1名選出し、手持ちにてご対応ください。

(コ) トレーナー活動は実施しません。

(サ) 無観客開催であることを理解し、関係団体（OB会、応援団等）に対して周知してください。また、競技会場近隣でのいかなる活動も一切禁止とすることも理解してください。

(シ) 会場内で大学名や個人名が入った幟等の掲出は禁止します。（給水地点は除く）

#### ④ その他

(ア) 主催者として加入する保険の補償範囲は後日要項に追記し、明記します。

(イ) 主催者は、出場チームおよびその関係者、競技運営関係者の感染に対するいかなる責任も負わないことをご理解ください。

(ウ) 申込み受付（エントリー）はオンラインにて行います。詳細は別途ご連絡いたします。

(エ) 大会 ID カードを事前に主催者より郵送します。大会当日は必ず持参してください。なお、大会 ID カードを忘れた場合には、入場できないこととします。

(オ) 出場大学で補助員に当たっている学生（各大学3名以内）は、入退場ともにチームと共に移動してください。

(カ) チームの監督、コーチ等のスタッフからの声掛けについては禁止とし、選手へ伝達したい内容がある場合には、ホワイトボード（手持ちサイズ）等を利用してください。

(キ) 成績発表は競技終了後、速やかに所定の大学待機エリア内で上位15校のみ読み上げることにします。以降の順位の大学については、主催者 HP へリザルトを掲載するので、同 HP を参照してください。

(ク) 予選会通過校は、競技終了後に取材の時間を設けます。オンライン取材を行う予定ですが、詳細は現地スタッフにて案内いたします。

(ケ) 本諸連絡は今後改訂される場合があります。その場合は本連盟公式 HP で更新するので注意してください。



(コ)この新型コロナウイルス感染症 感染防止対策等の諸連絡は、以下のガイドライン、ガイダンスなどを参照して作成しています。

- ・ 日本陸上競技連盟
  - 「陸上競技活動再開のガイダンス」(9月30日改訂)  
<https://www.jaaf.or.jp/news/article/13857/>
  - 「ロードレース再開についてのガイダンス」(9月30日改訂)  
<https://www.jaaf.or.jp/news/article/13887/>
- ・ 首相官邸
  - 「新型コロナウイルス感染症対策本部」  
[https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel\\_coronavirus/taisaku\\_honbu.html](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/taisaku_honbu.html)
- ・ 厚生労働省
  - 「新型コロナウイルス感染症について」  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)
- ・ 環境省
  - 「新型コロナウイルスに関連した感染症対策」  
[https://www.env.go.jp/saigai/novel\\_coronavirus\\_2020.html](https://www.env.go.jp/saigai/novel_coronavirus_2020.html)
  
- ・ 文部科学省
  - 「新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について」  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/coronavirus/index.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index.html)
- ・ スポーツ庁
  - 「新型コロナウイルス感染対策 スポーツ・運動の留意点と、運動事例について」  
[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop05/jsa\\_00010.html](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/jsa_00010.html)
  - 「スポーツ関係の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインについて」  
[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop01/list/detail/jsa\\_00021.html](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/detail/jsa_00021.html)
- ・ 日本スポーツ協会
  - 「スポーツ活動再開時の新型コロナウイルス感染症対策と熱中症予防について」  
<https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=4164>
  - 「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドラインについて」  
<https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=4158>

関東学生陸上競技連盟